

(株)テクノプラザみやぎに対する経営評価委員会意見

項 目	意 見	対象
<p>県としての今後の方針, 団体の位置付けの について</p>	<p>団体設立当初と比べ, 社会経済情勢や関係諸団体との関係が変化し, 事業が多様化している。</p> <p>このような中, 現状のまま当団体の存続維持を図るのか, あるいは地域産業振興に寄与する創業・起業支援事業の比率を高めるなど事業を再構築して当団体の発展性を追求するのか, 他の出資者の意向も考慮の上, 県の施策の中での位置付けや, 中長期の方向性を改めて検討すること。</p>	<p>県</p>
<p>収益確保対策 について</p>	<p>収益の確保に当たっては, できるかぎり基本財産の運用益に頼らない収益改善を継続することが望ましい。このため, 当団体の事業目的に適した将来性ある起業見込先の確保が重要であり, 関係機関との連携を踏まえた入居見込先情報の収集体制と活用方法を確立の上, 県と連携して継続的な入居者確保対策を行うこと。さらに, 当団体の特色を生かした新規事業の検討も進めること。</p>	<p>団体</p>
<p>県民にわかりやすい情報発信 について</p>	<p>県民に対する, 入居メリット, 起業家輩出の実績, そのためのプロセス実施状況, 等についての最新情報と検索の容易性を重視したホームページの再構築を図ること。また, 地元金融機関を含めた関係諸機関への定期訪問や起業を目指す事業者への直接発信の在り方など, 情報発信の方法を改めて見直し, 強化すること。</p>	<p>団体</p>
<p>関係機関との連携と人材育成 について</p>	<p>県及び関係機関との連携・情報交換を活かすために, より具体的な行動計画を立て, 実践し, 検証する, いわゆるPDCAを継続すること。また, ハード面, ソフト面ともに連携を維持・向上する能力を持つ人材確保と人材育成に努力すること。</p>	<p>団体</p>